



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イリーゼ定山溪Ⅱ号館	階数	地上2F
建設地	札幌市南区定山溪579-1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	85人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年2月 竣工	評価の実施日	2017年2月23日
敷地面積	6,350 m ²	作成者	
建築面積	1,299 m ²	確認日	2017年2月23日
延床面積	2,288 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>環境に配慮し、札幌の町並みに相応しい建築物になるよう設計した。</p> <p>内装に関しては定山溪という札幌有数の温泉街なので温泉街を勞働させる内装とした。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>できる限り断熱材を使用し熱損失を防ぎ過暖房にならないように配慮した。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>可能な再利用できる物を資材として使用し省資源等に配慮した。</p>	<p>C 緑化</p> <p>建築物の道路側に植物育成のためのスペースをとって芝桜を植栽した。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>雪処理を考慮し南側の敷地にスペースを設け雪処理できる状態とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される